

市政の動き

12月定例会報告
市長総括説明から

12月3日、令和3年度第6回豊岡市議会定例会が開会しました。

開会にあたり市長が総括説明を行い、新型コロナウイルス関連、当面する市政の諸課題および提出議案などについて説明しました。その中から主な内容をお知らせします。

なお、市長総括説明の全文については、市ホームページをご覧ください。

■新型コロナウイルス関連

○ワクチン接種

当初の予定どおり、個別接種については10月に、集団接種については11月に2回目の接種を終了しました。対象者である12歳以上の方の11月末時点の接種率は、1回目88・4%、2回目87・5%となっています。何らかの事情で接種できなかった方や、新たに満12歳になられた方については、引き続き接種の機会を設

け、市ホームページなどでお知らせしています。

また、3回目の追加接種については、2回目の接種後、原則8カ月を経過した方を対象に行うこととされました。医療従事者には、既に11月26日に接種券を送付しており、1月8日から接種を行う予定です。65歳以上の高齢者には、接種券・予診表を一体とし、接種日時・会場を指定した接種券を1月中旬に送付して、1月下旬から接種を行う予定です。

なお、都合による接種日等の変更は可能です。

■安全に安心して暮らせるまち

○豊岡健康福祉センターの継続使用

「設置管理条例を廃止し、有利な起債が活用できるように現市民会館と併せて除却することが望ましい」との方向性となっているが、検討を重ね、最終的に判断する」とこれまで申しあげてきました。

9月定例会では、豊岡市健康福祉センターを守る会からの陳情が議会で趣旨採択されました。8月に使用団体との

懇談会を開催した際には、全ての団体から継続利用と団体間の連携を維持したいとの意向を伺いました。さらに、行政のパートナーである医師会や社会福祉協議会からも行政財産として継続利用を望むとの要望がありました。

それらのことを踏まえ、総合的に判断した結果、豊岡健康福祉センターを引き続き行政財産として使用していくことが、市の福祉の推進につながるものと判断しました。

なお、城崎、竹野、日高、出石および但東健康福祉センターについては継続使用も含め、地域デザイン懇談会における議論も踏まえ、有効な活用策を引き続き検討したいと考えています。

■持続可能な「力」を高めるまち

○有害鳥獣対策

シカ対策については、昨年度の年間有害捕獲頭数が5090頭と過去最高を更新し、初めて目標の5千頭を達成しました。今年度の10月末時点においては、前年度同期より219頭少ないものの、3823頭を捕獲しており、

順調に推移しています。

サル対策については、地域での追い払い活動への支援に加え、昨年度に創設した防護柵設置等に対する補助金の交付を今年度も継続しています。11月末時点で4件の補助を行っており、補助対象となる防護柵の総延長は276mです。

なお、今後、サル被害地域での被害農地を地図へ落とし込むことなどにより、サルの行動把握に努め、追い払い活動や防除対策などに生かしたいと考えています。

■未来を拓く人を育むまち

○子育て支援総合拠点等の整備

現在、アイティ4階部分の整備工事を進めており、2022年3月下旬のオープンを目指しています。7階部分については実施設計を進めており、22年5月以降に整備工事に着手し、夏頃の完成を目指しています。

○幼児教育・保育及び

放課後児童のあり方計画

7月に地区別説明会を開催し、計画についておおむね理

解をいただいたことから、計画前期の事業を予定どおり推進することとし、関係園等との協議を進めています。計画どおり、竹野認定こども園と森本へき地保育園を2022年4月に統合し、森本へき地保育園を今年度末に閉園することとしています。

○小中学校の

適正規模・適正配置

7月、審議会からの答申について地域別説明会を行い、市民の方から意見をいただきました。その後、答申を尊重しつつ、説明会での意見等も踏まえて、小中学校適正規模・適正配置計画の案を教育委員会で作成しました。

計画案の内容は、統合を基本に小中学校を再編するものであり、既に複式学級が生じている小学校を最優先とし、将来に複式学級が生じる見込みの小学校や小規模化により課題が生じる中学校を次に優先して再編することとしています。ある程度の集団規模を確保することで、子どもたちが多様な考えに触れ、主体的対話的な学習の機会が日常的

※掲載している情報は編集時点(12月16日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

に得られるよう、教育環境の整備を行うものです。

現在、計画案の内容について市内6地域で説明会を行い、同時にパブリックコメントを実施して広く意見を伺っています。これらにおける意見を踏まえ、12月末をめどに計画の策定を完了する予定です。

計画策定後も校区別に説明会を行うなど、保護者や地域の方と十分に対話を行い、理解をいただいた上で計画を進めたいと考えています。

なお、個別に調整を進めている竹野・中竹野・竹野南小学校の統合に関し、11月11日、準備委員会から統合に必要な調整項目にかかる結論が示されました。これに合わせ、必要な条例改正案を今議会に提出しています。

■人生を楽しむお互いを支え合うまち

○新文化会館整備事業の再開

優れた文化芸術が創造され、市民が身近に触れられる環境を整えるため、新文化会館整備事業を再開し、これまでに取りまとめた基本構想等をベースに、実施設計に着手する

こととしました。実施設計に当たっては、未来の市民の負担を抑制できるように、基本設計の内容を十分に精査し、工夫して経費節減を図りたいと考えています。

■市政の運営

○中期市政経営方針の策定

基本構想に基づく、2022年度から25年度までの4年間の市政経営方針を策定しました。

前期市政経営方針における「小さな世界都市」を目指した特徴的な施策・取組みについては、中期市政経営方針においても、引き続き推進したいと考えています。

加えて、私の政治信念である「豊岡に暮らして良かった」と市民が実感できるまちづくりへの思いを反映させ、「市民の暮らしを支える施策」におきまして、地域経済を元気にするまちづくりに力を入れるとともに「子育てなら豊岡」を目指した子育て支援の充実、若者の声がまちづくりに生かされる仕組みづくり、デジタルトランスフォーメーションの推進による市民の利

便性の向上などを盛り込んでいます。

○デジタルトランスフォーメーションの推進

市民サービスの向上と業務改善の観点から、取組みを加速していく必要があると考えており、市の進む方向性と全体像等を明確にするため、デジタルトランスフォーメーション推進の戦略骨子を策定しました。

この戦略では、長期目標を「市民一人一人にデジタル技術の恩恵が行き渡り、多様な市民の多様な思いが叶えられている」としています。また、そこに至るまでの中間目標を「市民等の手続きは簡単・便利になり、市職員は定型業務をしていた時間を市民サービス向上に使っている」としており、当面は市役所の業務や市民等とのやりとりに係るデジタルトランスフォーメーションを推進したいと思っています。戦略の期間は2021年度から25年度までとしており、推進体制を強化し、取組みを進めたいと考えています。

○公共施設包括管理委託の検討

市有施設の安全性を確保しつつ、効率的な管理運営を図るため、それぞれの施設の設備点検や保守管理等の業務を一括して委託する包括管理委託を検討しています。本市における包括管理委託の実施の可能性、委託可能な施設や業務の範囲、委託期間、概算事業費等を事前に把握するべくサウンディング型市場調査を行っているところであり、応募のあった6社に対し、ヒアリングを実施しました。

この結果を踏まえ、導入の可能性や有効性を検証し、導入すべきと判断した場合には、2022年度に公募型プロポーザルを実施し、23年度に包括管理委託を開始したいと考えています。

○水道料金の改定

9月30日に公営企業審議会から答申を受けた後、市として慎重に議論を重ねてきました。改定案については、議員の皆さまに説明し、意見をいただきました。また、市民説明会やパブリックコメントに

より、市民の方からも意見をいただいたところですので、いただいた意見の中には、実施時期の再考などを求めるものもありましたが、改定自体の必要性につきましては、一定の理解をいただけたものと考えています。

いただいた意見を踏まえながら、再度検討を行い、答申に沿った平均改定率17・3%の値上げ案としてまとめ、今議会に条例改正案を提出しています。これまで経営努力を重ね、料金を据え置いてきましたが、今後の施設維持などを考慮し、やむなくの値上げ案となりました。

具体的な金額は、メーター口径、使用水量によって異なりますが、例えばメーター口径13ミリメートルで月20立方メートルを使用する場合、1カ月当たりの料金が2684円から3256円へ、572円の値上げとなります。

コロナ禍による厳しい経済情勢の中で値上げをお願いすることは大変心苦しく思いますが、市民の皆さまの大切な水道の安定供給を図るため、ぜひ、ご理解をお願いします。

※掲載している情報は編集時点(12月16日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。